

お客様へ

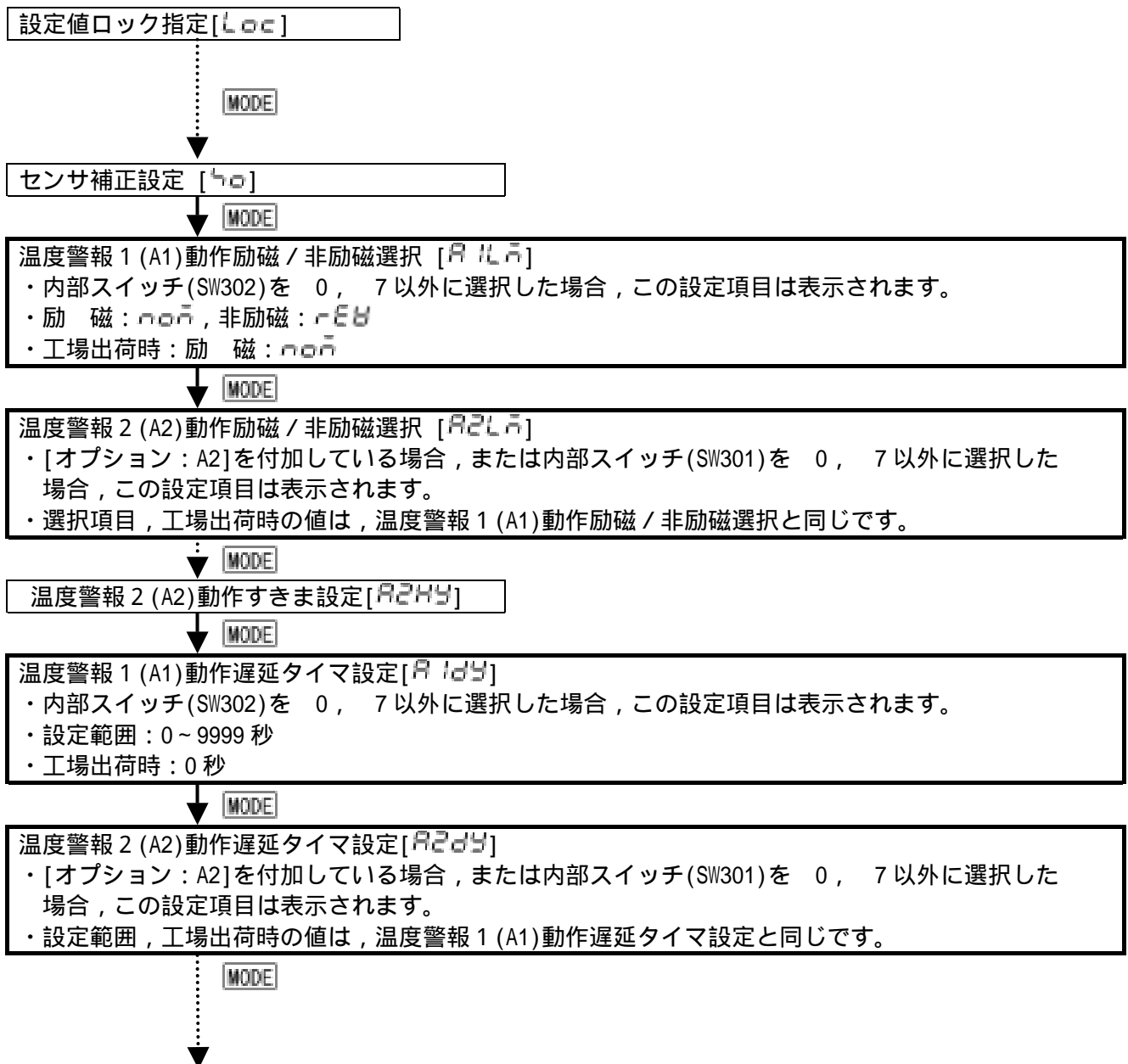
お手元にある取扱説明書(FCS-100シリーズ)は、以下の点が追加されていません。
製品(FCS-13A)を使用する時は、取扱説明書“FCS-100シリーズ”と挿入用紙(KS2001.001J2)を併せてお読みください。

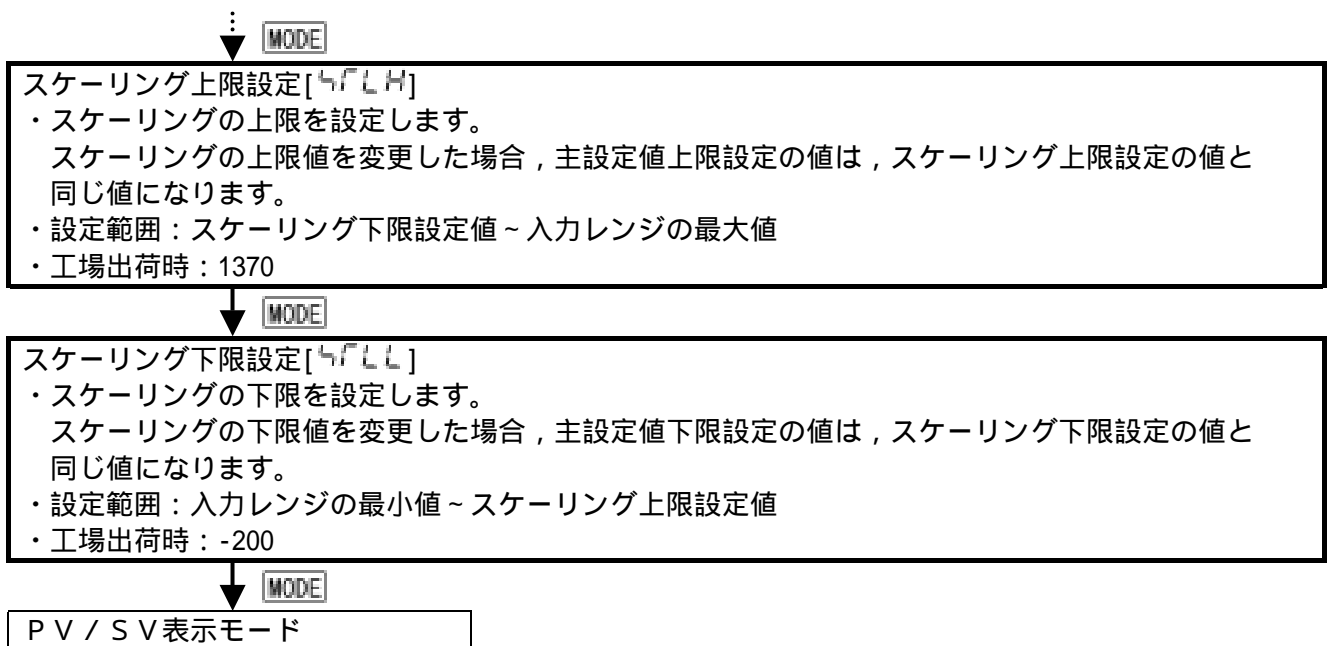
[補助機能設定モードの追加]

温度警報 1 (A1)動作励磁 / 非励磁選択[R1L \bar{A}]、温度警報 2 (A2)動作励磁 / 非励磁選択[R2L \bar{A}]、
温度警報 1 (A1)動作遅延タイマ設定[R1d \bar{Y}]、温度警報 2 (A2)動作遅延タイマ設定[R2d \bar{Y}]、スケーリング上限設定[HFLH]、スケーリング下限設定[HFL \bar{L}]の選択項目が追加になりました。

選択方法は以下の通りです。

▼ + MODE を約 3 秒間押すと、補助機能設定モードの設定項目になります。





主設定値上限設定(下限設定)とスケーリング上限設定(下限設定)の関係について

主設定上限設定、主設定下限設定は、スケーリングの設定範囲内で設定してください。

(最初にスケーリングの設定範囲を設定してから、主設定上限設定、または主設定下限設定を設定してください。)

但し、スケーリング上限設定、またはスケーリング下限設定の値を変更した場合、主設定値上限設定、または主設定値下限設定の値は、変更したスケーリング上限設定、またはスケーリング下限設定の値になります。

例えば、主設定値上限設定の初期値を 400、主設定値下限設定の初期値を-200、スケーリング上限設定の初期値を 1370、スケーリング下限設定の初期値を-200 として、スケーリング上限設定を 1000、スケーリング下限設定を-100 に変更した場合、設定値上限設定は 1000、主設定値下限設定は、-100 に自動的に設定されます。(主設定値上限設定、または主設定値下限設定の値を再設定する必要があります。)

スケーリング上限設定とスケーリング下限設定は、制御動作の比例帯と関係があります。

スケーリング巾を小さくすることで、制御分解能を向上させることができます。

例えば、スケーリング上限設定を 1370、スケーリング下限設定を-200 (スケーリング巾は 1570 になります。)、比例帯を 2.5%とした場合、比例帯巾は 39.25 (換算した場合)となります。

スケーリング上限設定を 400、スケーリング下限設定を 0 (スケーリング巾は 400 になります。)、比例帯を 2.5%とした場合、比例帯巾は 10 (換算した場合)となります。

スケーリング巾 400 は、スケーリング巾 1570 よりも制御分解能がこまかいこととなります。